

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No. 31

2005. 4. 30発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2 - 2511

17年度予算 一部修正で可決 — 2

小松島市との
合併が破たん — 4

町長に不信任決議案 — 5

常任委員会の活動 — 6

11議員が質問 — 7

元気が一番 — 18

両校で32人の新入生



100万円 2,024万円 を可決

3月定例会

十七年度予算

一部を修正して可決

三月定例会は、九日から二十九日までの二十一日間開かれ、十六年度補正予算、十七年度特別会計予算、小松島市・勝浦町合併協議会の廃止は全会一致で可決、条例改正は、一件を否決し他は可決、十七年度一般会計予算については、一部修正の上可決しました。また、川口町長に対する不信任決議案が六議員から提出されましたが、四分の三の賛成を得られず否決しました。

一般質問には十一議員が登壇し、合併に対する町長の姿勢などに厳しい追求が行われました。

一般会計予算の主なもの

防災無線改修	2億5,500万円
中山間地域等直接支払事業	5,994万円
国土調査事業	3,672万円
町単道路改良	3,033万円
中学校耐震診断	683万円

議案に対する主な質疑

問 住民の意識改革を促すためにも、補助金等は活動内容を十分精査して執行すべきだ。

答 総務課長 精査して執行したい。

問 自主防災組織の整備はどのような姿勢で臨むのか。

答 町長 各地区から希望があれば、補正予算で対応する。



防災無線改修 2億5,500万円

一般会計 **33億**

特別会計 **32億**

一般会計予算の修正

**県町村会人権対策特別会計
負担金など百二十四万円を
予備費に**

松田議員から修正案が提出されました。

◆修正案に対する質疑

問 森健議員 町村会の中での取り組みなので、本町だけがこの負担金をやめるのはどうかと思うが。

答 松田議員 同和対策特別措置法は終了し、負担金を支出する根拠はすでに消失している。また、小松島市との合併が破たんし、財政的に非常に厳しい。

◆採決の結果

賛成六人、反対三人、退席二人
で修正案は可決しました。

人権擁護委員

細川 寛氏(坂本)の推薦に同意

問 東部広域農道は、イノシシ、サル、シカなどが通る道になる。限られた財源を町民の暮らしや生命に直結した予算に使うべきでは。

答 町長 もう七十%近くが完了している。雇用の創出、業者の育成など費用対効果も考え、工夫しながら進めていきたい。

課設置条例の一部を
改正する条例を否決

現在の六課を、総務税務課、住民福祉課、産業建設課の三課に統合する条例修正案が提出され、討論となりました。

反対 西浜議員 今回の条例改正は、十分に検討、協議されての提案とは考えられない。また四月一日からの実施は多くの問題点があるの明らかである。

賛成の討論は無く、採決の結果、賛成一一人、反対十人で否決しました。

小松島市との合併破たん

住民アンケートで67%合併に反対

町長、住民の意思を尊重

平成十六年六月、町長、助役が小松島市に合併の申し入れをしてから、住民説明会を開催、十月から合併の任意協議会を四回、法定協議会を六回行って、勝浦町要望の重要八項目を含む五十二項目が協議され、議員の身分の問題だけを残して合意されましたが、再度説明会を行い、その後のアンケート調査で合併反対が多数を占め、町長は「住民の意思を尊重したい」と第七回の協議会で正式に離脱を表明し承認されました。

町長の姿勢に 疑問の声

「合併を申し込んできた上に重要八項目のほとんどを受け入れているのに、今になって住民アンケートの結果で合併しないとは、最初から合併する意志がなかったのではないか」「合併協議会で合併推進派と発言したにもかかわらず一部町民に対して合併をする意志はないと打ち明けている」など町長の姿勢に小松島市の委員から厳しい意見が出されました。



合併協議会でアンケート結果を報告

今後の課題は

「小松島市に多くの要望を受け入れてもらっても今の財政状況では実現できないのでは」との声もありましたが、外部から見ると財政力が弱い勝浦町の方が先に財政が破たんするだろうとの見方です。過疎化、高齢化が進み財政はますます厳しくなる中病院やゴミ、救急体制は今後どうしていくのか。若者が住んでくれる魅力ある町づくりはできるのか。十年二十年先までの自立計画が立てられるのか。など、今を生きる私達が解決しなければならぬ問題が山積しています。また、今回の合併破たんで失った町の信用回復と、県や小松島市との関係修復も大きな課題だと思えます。



町政初

川口町長に不信任案

合併に反対の言動

賛成八人、反対四人で否決

『勝浦町長の川口幸一君を信任しない。以上決議する』と川端副議長ほか五人の議員から町長の不信任決議案が提出されました。

不信任の理由

- 一、町長は、小松島市との合併協議会で副会長として合併を進めてきたが、裏では反対する言動があり、市・町民に大きな不信任感を与えた。
 - 二、その言動により、小松島市に大きな迷惑をかけたうえ、対外的にも町の信用を著しく失墜させた。
 - 三、各地区で行われた住民説明会で、町長としての合併に対する態度を明確に示さず住民に大きな不安を与えた。
- 採決の結果不信任案に賛成が八人、反対が四人で、不信任に必要な四分の三以上の賛成が得られず否決しました。

◎小松島市議からも 要望書

合併協議をめぐり、小松島市議十三人から町長に対して合併が破たんした責任の所在を明確にし、合併協議に要した千六百五十六万八千円を損害賠償として支払うよう求める要望書が提出されました。

本会議では「損害賠償を予算計上するくらいなら、町長は辞職すべきだ」との厳しい意見も出されました。

溝田前議長の 議員辞職願を否決

溝田前議長から小松島市との合併が破たんした事と、町長に適切に助言できなかった責任を取りたいと国清議長に辞職願が提出されました。審議の結果全会一致で否決され辞職は認められませんでした。



総務 産建

環境改善センターなどの管理を民間委託

三月一日に委員会を開き、十六年度補正予算、十七年度一般会計予算案、勝浦町公の施設の指定管理者の指定や、条例の一部改正などについて説明があり審議しました。

総務課長から 課設置条例について現在の六課から三課にするとの説明がありました。

問 住民サービスの低下にならないか。また、議会対応はできるのか。

答 総務課長 サービスの低下につながるようなようにしたい。議会対応は問題点があり、現在の体制を考える必要がある。

産業振興課長から 公の施設の管理者の指定について説明がありました。

問 何年契約なのか。また将来的にはどうなるのか。

答 産業振興課長 試行的に一年間実施したい。将来は自主運営でできればいいと思う。

・農村環境改善センター
町民体育館

合計二百六十四万三千百三十六円で井戸端塾に委託



環境改善センター 町民体育館の管理を民間委託

・農村婦人の家
子育て支援センター
合計 二百八十三万二千八百円で社会福祉協議会に委託

行財政改革の一環として特別職二十％、職員五％、議長、副議長十％、議員五％の報酬カットを十七年度も継続することにしました。

委員会として 三月定例会に提案する事に同意しました。

その他 与川内大平谷残土投棄について、土壌、水質検査を業者に依頼、結果は一月くらいかかるとの報告がありました。

※四月十五日の全員協議会で土、水とも環境基準値を下回っていたとの報告がありました。

常任委員会の活動報告

文教 厚生

住宅改造助成事業に百八十万円

三月二日に委員会を開き、十六年度補正予算、十七年度一般会計予算案と特別会計予算案および人権擁護委員の推薦について審議しました。

教育委員会事務局長から 勝浦中学校の耐震診断計画についての説明がありました。

問 耐震診断の基準は

答 教育委員会事務局長 昭和五十六年以前の建物で、診断を受けていなければ改修等の補助金がない。

問 高齢者や重度身障者に対する住宅改造助成事業は周知できているのか。

答 教育委員会事務局長 周知はできているが低所得者、非課税世帯等の条件がある。

問 行財政改革の中で、現在、無料の施設の使用料を今後どうするのか。

答 教育委員会事務局長 意識改革をして住民に負担してもらいようにしたい。

委員会として 三月議会に提案する事に同意しました。

なお病院事務局長から看護師二人の退職があり、十二月広報で募集したが一人の応募しかなかったので十七年度の統一試験に応募するとの報告がありました。



町施設 使用料を検討

ケーブルテレビの見通しは

十七年度予算の 基本方針は

四月中旬に内示がある（助役）

課題への的確な
対応と行革
（総務課長）

森 敏治 議員



問 二〇一一年度から全国的にアナログ放送がデジタル化になり、NHK、教育、四国放送しか映らないと言われているが、今後の事業の見通しは。

答 助役 上勝町と広域的に情報通信基盤整備事業を進め、総務省に要望書を提出している。三月十五日にヒアリングがあり、四月中旬には内示の予定である。

問 この事業を実施するためアンケート調査をしたが、集計の内容は。

答 秋成総務課長 インターネットの利用意向では八十二%の町民が利用したいとの希望がある。

また、約七十%が緊急情報等を得たいとの事である。家庭用情報機器に対する関心度も高い。

問 十七年度当初予算は三十三億百万円提案されているが、どのような基本方針で編成されたのか。

答 秋成総務課長 政策課題への的確な対応と、行財政改革の取り組み強化を基本として編成した。限られた財源をより緊急性、必要性の高い事業に優先的に配分し、財政の健全化を図りたい。



ケーブルテレビの見通しは



四月一日から、ペイオフ解禁

基金は最終的に取り崩す予定である。

公的資金の 管理と運用は

問 四月一日からペイオフが全面的に解禁されるが、どのように対応するのか。

また、従来の預金方法と比べてどの程度利息が減少するのか。

答 助役 毎日出し入れする預金は決済用預金に入れることになり、利息はつかない。十六億円の基金等について

は定期や国債等を検討し有利な運用に努めたい。

従来の預金方法では年間約三十一万円の利息があったが、各金融機関に一千万円ずつ預けると二万五千円しかない。今後検討委員会を設置し、より安全で有利な運用を図っていききたい。

課の再編 サービスの低下に つながらないか

一丸となつて
頑張りたい（町長）

問 四月一日から現在の六課から三課にする条例が提案されているが、住民サービスの低下につながらないか。

答 町長 第二次行財政改革の趣旨にそつて検討した。住民サービスの低下につながらないように配慮し、一丸となつて頑張りたい。

合併が破たん すれば

問 自立することになった場合、財政の見通しは。

答 町長 国の方針では平成十七、十八年度は交付税の減額はなしとのことである。意識改革をしながら身の丈に合った財政運営をしたい。

問 小松島市との今後の関係は。

答 町長 小松島市とは広域的にもいろいろ関係があり、最大限努力して修復を図っていききたい。

合併は困難

自立計画は

具体的な計画はできていない（町長）

原田昭三 議員



的な計画はできていない。自立していくとなると更に厳しい改革を行い、それに沿った計画を立てる必要がある。

問 住民説明会において合併反対とも受けとれるような答弁をしていた。このように考えが変わったのはいつの時点か。

答 町長 小松島の住民説明会の資料や報道による財政状況等がわかるにつれ「たいへんだなあ、厳しいなあ」と思った。

建設残土の投棄にどう対応

問 与川内の大平谷に大量の土砂が捨てられている。急傾斜であり大雨が降ると坂本川へ流れ出すおそれがある。

答 町長 住民説明会での資料のような見直しは示せるが、具体

今後、町はどのような対応をするのか。

答 山平住民課長 残土に有害物質が含まれていれば、環境に影響を与えるので土壌の一部を採取し、専門業者に検査を依頼している。

答 坂井建設課長 建設残土については今のところ投棄中止などの規制ができない。自治体によっては条例を作り規制している所もある。本町においても早急に条例の制定等、検討する必要がある。

人形文化交流館無届けで駐車場整備はなぜ

問 人形文化交流館の駐車場は農業委員会に無届けで工事が終了していた。このような事が以前にもキンキサイン駐車場において行われている。町が関係している事業で、このような工事が施工されたことについてどう考えているのか。

答 国清産業振興課長 農業委員会への駐車場申請については、用地交渉等に時間がかかり一月の委員会に間に合わなかった。ひな祭りのオープンが控えていたので事前着工という形となった。担当課長として反省している。



農業委員会に無届けで駐車場整備

県町村会人権対策負担金の廃止を

問 財政が危機的状況にある中で助成金を負担してきた。数年後には財政再建団体になると予測されるので、今後、この負担金を廃止すべきと考えるが。

答 町長 町村会においても議論を重ね、年々減額してきた経過がある。数年後にはゼロになるので理解してもらいたい。



与川内大平谷の建設残土

合併協議会

速やかに解散を

手順に沿って進めたい（町長）

中西晴美 議員



問 合併協議会を六回傍聴していたが、

勝浦町の合併相手として小松島市がふさわしいとは思えなかった。結果的には住民の多くが私の考えと同じであった。町長は遠慮することなく堂々と胸を張って解散に向け努力すべきだ。

答 町長 小松島市とは隣同士であり相手の立場を考え、合併が成功しなくてもお互いが信頼し合って、仲良く暮らせるように治めて行くのも行政だと思ふ。

問 住民アンケートで小松島市との合併反対が圧倒的に多かった。結果を尊重し速やかに合併協議会を解散して、勝浦町自立に懸命の努力をすることが町長の取るべき姿勢ではないか。

答 町長 アンケート結果を最重要判断材料にすることは約束しているが、議会や協議会委員との協議もあり、手順を踏む必要がある。



貯蔵みかん新たな品種の検討も

問 今年景気も回復しつつあるので、

本町の貯蔵みかんも十分な肥培管理をしていればかなりの成果が期待できると思ふ。

答 今後、どのように指導し、対処することが本町のみかん産業の発展につながると思ふか。

答 国清産業振興課長 三年間続けてきた貯蔵みかんの産地活性化事業が修了したので、新たに経営安定チームの会を開いていろいろ検討している。

その会で、今まで推進

苦境に立つ 商工業者の 救済策を

交流人口をつかみ 購買力向上を

（産業振興課長）

問 現在ほど町内の商工業者が苦境に直

面している時はない。商工会発行の商品券に補助金を出している事は評価するが、それだけでなく乏しい財政の中でももう一段踏み込んで、より効果のある援助策を講ずる必要があると思ふが。

答 国清産業振興課長 景気の回復を期待しているが、町内の業者は非常に厳しい状況が続いている。プレミア付き商品券は大きな効果があると商工会から陳情があり、十七年度は三百万円の予算を組んでいる。

現在、町が進めている都市と農村の交流により、移動人口もかなり増えているので、これをがっちりつかんで購買力の向上に努めて行きたいと考えている。

答 町長 プレミア付き商品券もあるが、各商店も行政に頼るばかりでなく、町内の店を利用してもらえようとする努力も必要だと思ふ。

行政としてはできる範囲の応援はして行きたい。



苦境に立つ商店街

町道西岡・田中線の早期改良を

地元対応ができれば（建設課長）

福德重二 議員



県道徳島・上那賀線改良
その後の進展は

問 柳原工区は、地元から県道北側に水害防護壁設置の陳情をしている。県が認めてくれれば道路改良はできると思うが、その後協議したのか。

答 坂井建設課長 県は、水害防護壁設置は下流への影響を考えると無理だとのことである。今後も粘り強く進めるつもりだが、設置が絶対条件であれば難しいと思う。

バリアフリー化の進展具合は

問 お年寄りや、身体の不自由な人が利用できやすい段差の無い施設、特に地区集会所等の出入口のバリアフリー化は振興計画の中で位置付けられている。その後の進展状況は。

答 秋成総務課長 振興計画では、「優しく思いやりのある施設に」と盛り込んであり、財源等検討しながら実施したい。

県道沼江バイパス二期工事止めたのか

問 あまりにも進展しない工事計画だが、進まない要因は何か。

答 坂井建設課長 地権者との話し合いが進まないためである。

問 現県道を利用し、バイパス並みに拡幅する考えに変わるのであれば「用地交渉はできる」という一部関係者はいる。今後の進め方は。

答 坂井建設課長 バイパス工事計画と平行して即効性のある現県道の狭い部分の拡幅改良を進めたい。一方で財政難でもあり、計画の見直しの時期でないかと県の意向もある。



沼江県道狭い部分の拡幅を

どうなった市民農園構想

問 勝浦高校実習園跡地の市民農園構想はどこへ消えたのか。また、今後どのような利用方法を考えているのか。

答 国清産業振興課長 アンケート調査を実施し、地区説明会や地域活性化委員会等で協議してきたが実現には至らなかった。現在は桜の園構想として、まずは花づくりに始める。

問 合併推進の中で、町長の言動が議会や町民を裏切ったとの声がたくさんある。

答 町長 うわさはうわさである。私の姿勢をいろいろ言われるのは不徳の致すところである。今後も町民の幸せのために慎重に町政を進めたい。

問 町道西岡・田中線は地域住民の唯一の生活道路であり、児童生徒の通学路でもある。増水時には冠水し通行不能となり、住民は不安を抱きながら生活している。早期の改良が必要だ。

答 坂井建設課長 主要幹線道路であり住民の不安は十分理解できる。地権者の了解が得られれば対応は可能だ。



進まない集会所のバリアフリー化

市町合併

町長の政治姿勢は一貫性がない

予算編成

何を基本に

財政改革だ (町長)

森 健 議員



問 予算編成に当たり、何を基本に置いたのか。

答 町長 財政改革を基本に編成した。

一方で、防災無線を新しくするために昨年より少し膨らんだ。

答 秋成総務課長 緊急を要する事業から、優先順位をつけ予算編成をした。



改修される防災無線

問 予算編成上、国の三位一体改革がどのように影響し、対応はどうか。

答 町長 予測の範囲だと思っている。

地方に対して今までのような厳しい切り捨てが緩和しつつあるように感じている。総合的な判断の中で、今後の財政運営をしていきたい。

農業振興 町の対応は

問 統合補助金、品目横断的所得対策とは何か。また、町としてどのような活用ができるのか。

答 国清産業振興課長 統合補助金は地域が自主的に裁量権が発揮でき、現在の補助金百七十七事業を七つの交付金に統合するものである。

都市と農村の交流や、グリーンツーリズムなどの事業で活用が図られると思っている。
また、品目横断的所得対策では、水田と畑作に



複数の作物を組合わせ営農を

ついで複数の作物の組み合わせによって営農が行われ、諸外国との生産条件格差を是正する事と、市場で農産物価格が下落した場合、所得に応じて補てんされるものであり、今後、研究していきたい。

合併問題の 結論は

問 住民説明会後のアンケート結果を最重要視すると言っていた

答 町長 七十%近い人が合併反対との結果が出た以上、できるだけ早く白紙撤回の方向で議会にも同意を得るよう努力していきたい。

問 小松島市の十六年度決算見通しが、新聞報道された時点で、新市長に「思い切った行財政改革を断行して安心して合併できる市にしたい」と言えなかったのか。

答 町長 前市長の時から、財政問題を先に論じるように言ってきたし、助役や派遣職員にも指示をしてきたが後回しになった。また、十六年度の決算見通しを少しでも早く知らせて欲しかった。

課の再編 本会議答弁 などの対応は

問 現在の六課を三課にすると言うのが、住民サービスの低下にならないか。また、本会議での理事者答弁はどうするのか。

答 町長 財政の厳しい中であり、横のつながりやそれぞれの分担も今まで以上に努力してもらい、住民サービスの低下にならないようにしたい。

答 秋成総務課長 課の組織体制を変えて行かなければ、対応しきれないと思う。

船井電機跡地

払い下げの交渉を

国会議員と連絡をとる（町長）

溝田義昭議員



問 船井電機池田工場跡地が国会議員の仲介により、池田町へ寄贈されるとの報道があった。

答 勝浦工場跡地も払い下げの交渉をすべきではないか。

町長 過去には「町に売ってもらいたい」と金額まで示して交渉したが聞き入れてくれなかった。池田工場の報道を見て、急いで代議士事務所へ連絡を取っている。



船井電機跡地払い下げの交渉を

問 払い下げの交渉が成功するよう努力して、跡地に民間資本の投入などにより、若者向け住宅を建築するような計画を立ててはどうか。

答 町長 うまく譲り受けができれば、

厳しい財政の中でも検討の必要はあると思う。

問 船井電機跡地と隣接する町有地を地元の人と売買契約を結び手付金を受け取っていないが七、八年登記もしていないでいる。早く決着をつけるべきだ。

答 町長 船井電機の土地との境界問題で長引き、迷惑をかけ申し訳なく思っている。大体の目途もついたので、早く解決するよう努力したい。

みかんは町の基幹産業か

必ず再生できると思う（産業振興課長）

問 みかんは町の基幹産業ということで、今までに多くの町費を投入してきたが、十年前と比べてどれだけ良くなったのか。

答 国清産業振興課長 十年前と比較すると面積は約二十％減少しており、販売額では約半分になっている。

問 みかんは町農業の中心ではあるが、基幹産業と言う表現は適当でないと思う。他の作物をもっと推進すべきでないか。

答 国清産業振興課長 勝浦みかんは必ず再生できると考えている。

小松島市との合併問題 町長の言動は背信行為だ

問 合併協議会委員として議会と協議しながら、編入合併であっても他に例のない程多く



再生できるのか勝浦みかん

の要望を受け入れてもらった。町民に胸を張れる説明会であったはずが町長は的確な答弁をせず、出席者に不安を与えた。私達委員の努力をどう思っているのか。

答 町長 協力頂いたことは心から感謝しているが、アンケートを最重要判断材料にする」と約束してきた経過の中で、このような結果になったので同意願いたい。

問 町長は今回の合併に際して長としてしてはならない言動をした。表では合併の推進の立場を取りながら裏では反対してくれるよう依頼した。このような言動は住民に対する背信行為だ

答 町長 協力の頂いたことは心から感謝しているが、アンケートを最重要判断材料にする」と約束してきた経過の中で、このような結果になったので同意願いたい。

問 私の不徳もあるが、今の段階では民意を十分聞いて、その中で後の結果を出すまで頑張りたい。

答 町長 私の言った事と伝わっていることに若干のずれがあるように思う。

問 町長は、合併に賛成の人にも反対の人にも良い顔をしようとしたのではないか。

答 町長 推進派の意見、反対派の意見と住民は全く別れている。私の不徳の致す所と反省している。

合併協議にかかった経費は

一市四町からで、約六千五百万円
(総務課長)

井出美智子 議員



答 秋成総務課長 職員の人件費を含めて約六千五百万円負担している。

問 牟岐町長は、一億円の経費をかけたがら合併できなかった責任をとって、辞意を表明したが、感想は。

答 町長 牟岐町長には牟岐町長としての考え方があろうし、私には私としての考え方がある。その態度は立派だと思う。

問 今までの議会でも、自立計画も立てるべきだと繰り返し提言してきたにもかかわらず、町長は「合併しなければ財政的にやっていけない」という答弁ばかりであった。町づくりのビジョンがない自立計画では、単なる経費削減だけが目的の

自治体リストラ計画になつてしまふ。町長のこれまでのやり方を反省し、責任の重さを受け止めるべきである。

答 町長 合併に向けて走っていたので、自立の町のビジョンはできていない。任期中に自立計画を立てたい。

後発医薬品の使用を

採用品目を増やしたい(病院事務局長)



後発医薬品 品目を増やし経費節減を

問 町長は、合併破たん責任を取って辞職すべきだという質問に対して、「結果を出すまで頑張っていきたい」と答えたが、どういうことか。

答 町長 早急に法定協議会を離脱するとともに、自立計画も作らないといけないので、任期中頑張っていきたい。

問 勝浦町は、一市四町の合併協議から今回の小松島市との協議まで、どれ位の経費がかかったのか。



立てられるのが自立計画

問 後発医薬品は、新薬の特許期間が終了してから後に製造販売される薬であり、新薬の二割から五割も安く、しかも効き目や安全性も十分確認されている。

勝浦町病院での使用状況と今後の見通しは。

答 幸野病院事務局長 十六種類の後発医薬品を使っており、三%の使用割合である。主な七種類を比較すると、新薬を使うよりも六百十五万円安くなっている計算である。

今後、病院にとっても

経費節減になるような品目の検討を続け、採用品目を増やせるよう努力していきたい。

町条例で建設残土の規制を

早急に検討したい(建設課長)

られている事を認めるとともに、畑総の保有地が埋められないようにすることを確認した。地元からの要望を強く県に上げていくとともに、町の条例を作つて規制する必要があるのでは。

答 坂井建設課長 現在埋め立て等を規制する条件は、産業廃棄物でない限り当てはまらない。同じことが再び起こらないように、早急に条例制定等について検討したい。

問 与川内地区大平谷での残土投棄問題について、扶川県議の県議会での質問に対し、県は一部産業廃棄物が埋め

行財政改革

見直すべきでは

当然の事と思っている（助役）

松田貴志 議員



問 十六年度の行財政改革の成果と反省点は。また、今後の取り組みは。

答 助役 職員給与のカット、収入役の廃止等による人件費の削減を行った。今後は事務事業の民間委託を進め、受益者負担等の見直しも検討していきたい。

答 町長 課の統廃合は、行政改革調査委員会からの指摘や管理職の退職等もあり、今議会に提案させてもらった。

答 町長 良いアイデアであり、検討してみたい。

問 次世代育成支援行動計画を受け、新たに実施する事業はあるのか。

答 光井福祉課長 予算化はしていないが、子供の視点で支援対策を推進していきたい。

問 子育て交流支援センターの委託先が変わるが、問題点はないのか。

答 光井福祉課長 サービスが低下する

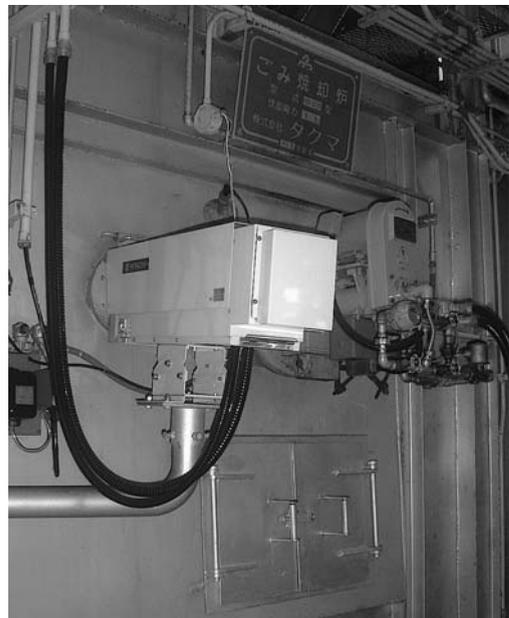
ことはない。多くの方が利用し好評であったので、さらなる事業の充実も考え取り組んでいく。

防災対策 建設業協会との連携は

問 大地震による災害や堤防決壊等の水害には、専門的な技術がなければ対応できない。建設業協会との連携はどうか。



建設業協会と連携し災害対応を



あと何年使用できるか ゴミ焼却炉

いつまで使える ゴミ焼却炉

問 クリーンセンターの焼却炉は建設から十二年が経つが、あと何年使えるか。

答 山平住民課長 環境省の基準では、耐用年数は十五年程度と言われている。周辺機器も老朽化しているので、検査等を専門家に依頼し早目に修繕をしていくことが、操業期間を少しでも長くする唯一の方法と考えている。

答 坂井建設課長 消防団等に対応できない支援活動については、協会に協力してもらえよう協議している。

問 広域的な大規模災害では、地元で対応できる体制づくりが重要である。建設業者の大型重機や土のう等、資材の状況は把握しているのか。

答 坂井建設課長 今後、業者の資材、重機等の保有状況を調査し、防災計画に取り入れたい。

問 花嫁花婿相談員の最近の実績はどうなっているのか。今後、青年会等と連携してパーベキニューやお見合いパーティーなどの取り組みを行うてはどうか。

答 国清産業振興課長 十五年度は百三十四回のお見合いを行い、一組が成立している。

少子化対策 結婚相談員の実績は

十五年度成立は一組（産業振興課長）

十七年度予算の特長は

防災対策に重点 (町長)

大西一司 議員



橋の耐震化を 図れ

幹線道路については検討したい (建設課長)

問 今後の公共施設等の耐震診断の計画は。
答 町長 十六年度は横瀬小学校を実施

十七年度には勝浦中学校を予定している。その後については補助金がつく間に、財政の許す限り対応して行きたい。国・県では橋の耐震化が進められている。県道徳島・上那賀線は第二次緊急輸送道路に認定されている。避難所に通じる橋の耐震化を進める必要があると思うが。

問 震化が進められている。県道徳島・上那賀線は第二次緊急輸送道路に認定されている。避難所に通じる橋の耐震化を進める必要があると思うが。
答 坂井建設課長 町内に二百四十三の橋があるが、補助がつくのであれば主要幹線道路の橋については検討したい。

「ゆとり教育見直し」の対応は

詰め込み教育の反省から生まれた「ゆとり教育」は、平成十四年度から実施されたばかりだが、文科科学省は学習指導要領の見直しを進めている。猫の目のように変わる方針に対し本町の対応は。

問 詰め込み教育の反省から生まれた「ゆとり教育」は、平成十四年度から実施されたばかりだが、文科科学省は学習指導要領の見直しを進めている。猫の目のように変わる方針に対し本町の対応は。
答 教育長 新しく作成される学習指導要領により進めて行くが、子どもたちにやる気を起こさせ学習意欲の向上を図ることが大切だ。

教育委員会としても学校と十分協議し、子どもたちの育成が順調にできるよう取り組んでいきたい。

問 詰め込み教育の反省から生まれた「ゆとり教育」は、平成十四年度から実施されたばかりだが、文科科学省は学習指導要領の見直しを進めている。猫の目のように変わる方針に対し本町の対応は。
答 教育長 新しく作成される学習指導要領により進めて行くが、子どもたちにやる気を起こさせ学習意欲の向上を図ることが大切だ。

教育委員会としても学校と十分協議し、子どもたちの育成が順調にできるよう取り組んでいきたい。

ごみ 広域処理場建設 見通しは

計画は進んでいない (住民課長)

問 立川のクリーンセンターの耐用年数があと四年位だ。合併が破たんして小松島への搬

入がでなくなってきた。今後の対応は。
答 町長 毎年オーバーホールして、できるだけ長く使えるよう研究、努力していきたい。

入がでなくなってきた。今後の対応は。
答 町長 毎年オーバーホールして、できるだけ長く使えるよう研究、努力していきたい。

問 東部一ブロックごみ処理施設広域整備協議会の進展は。
答 山平住民課長 平成十三年に基本計画が作成され、現在協議中だが、計画は進んでいない。

問 徳島市は新しい処理場建設を計画しているが、申し込んでどうか。
答 町長 今は東部一ブロックの進展状況を見守りたい。

問 小松島市との合併破たんは大きな問題を残した。町長は合併協議会で言っている事と行動が違っていた。小松島市や県、住民に対する背信行為にならないか。
答 町長 議会の同意を得る中でアンケート結果を最重視し判断した。不満な点は私の不徳の致すところ。今後は住民に迷惑をかけないよう一生懸命に努力していきたい。

問 小松島市との合併破たんは大きな問題を残した。町長は合併協議会で言っている事と行動が違っていた。小松島市や県、住民に対する背信行為にならないか。
答 町長 議会の同意を得る中でアンケート結果を最重視し判断した。不満な点は私の不徳の致すところ。今後は住民に迷惑をかけないよう一生懸命に努力していきたい。



見直しが進むゆとり教育

合併問題 町長の言動は不自然 責任は重大だ

問 小松島市との合併破たんは大きな問題を残した。町長は合併協議会で言っている事と行動が違っていた。小松島市や県、住民に対する背信行為にならないか。
答 町長 議会の同意を得る中でアンケート結果を最重視し判断した。不満な点は私の不徳の致すところ。今後は住民に迷惑をかけないよう一生懸命に努力していきたい。



主要幹線道路 橋の耐震化を

合併問題

町長ははじめをつけるべきだ

反省しながら頑張っていく(町長)

川端雅夫議員



解を招き、私の不徳の致すところで反省をしている。

問 法定協議会で勝浦町の重要八項目を

ほとんど聞き入れてくれたにもかかわらず、住民説明会では合併すると言った。強い決意で住民に合併の必要性を解くべきではなかったのか。

答 町長 いくら重要項目が約束されても、基本は財政が伴っていないければ何もならない。

問 今まで一市四町、上勝町、小松島市との合併すべてが破たんした。町長は事の重大さをまだ認識していない。

けじめをつけるべきではないか。

答 町長 すべての合併構想が破たんした事は私の不徳の致すところであるが、合併と言うのはこんなに難しいの

問 町長 住民からの問い合わせの電話もあり、アンケートを取っているので良く判断して下さいと言った事が誤



学校の不法侵入者対策に万全を

かなあと思っている。今後、反省しながら肅々と頑張っていきたい。

学校の不法侵入者対策は

問 附属池田小学校事件や、寝屋川市で先生が背後から刺されて死亡した事件など、学校内の事件が多発している。小・中学校では不法侵入者対策はどのようにしているのか。

答 教育長 両小学校には低学年の教室に防犯カメラ付通報システムを設置している。また、生小では県道に面した側の出入口や、正面玄

関は施設をしている。勝中では、小学校と同様の不審者侵入対策マニュアルを作成し、緊急時に対応できるようにしている。校舎回りの「フェンスはもつと高くならないか」と言う保護者の声もあるが、教育長 フェンスを高くして侵入を防ぐことは一番いい方法と思うが、財政上の問題もある。

病院経営の

今後は

団体や、一般公募などして実習園跡地を生き返らせる方法は。
答 国清産業振興課長 当初はビジョンを作成し、三回地区説明会をしたが、すぐには市民農園と言う形では受け入れてくれなかった。今年、五つの小委員会を作り、まず桜を植え、花作りから始めようと立ち上がっている。

問 現在、患者四人に対し一人の看護師が十八年度から三対一になる。どう対応するのか。

問 今後の経営方針は。

答 幸野病院事務局長 今後共、一層の自

助努力が必要であり、医療法の定めがある職種を除いて退職者不補充で努力しているが、思い切った改革はできていない。

答 幸野病院事務局長 十八年二月二十八日までに三対一に移行しなければならぬ。現在入院患者数が平均四十五人位であり、退職者の看護師分を補充すれば良いが、入院患者数が多くなれば看護師を増員するか、病床数を減らすかの選択をしなければならない。

市民農園はいつ

問 平成十五年に市民農園構想が持ち上がったが一向に進んでいない。

町内外のボランティア



看護師の増員か 病床数を減らすか

一般質問

課再編条例は 白紙撤回を

改革を断行したい (町長)

西浜勝己議員



問 機構改革と称して六課を三課にする課再編の条例改正案が提出されているが、なぜ今突然にこのような提案をするのか。

答 助役 平成十六年二月に行政改革調査会からの答申が出されている問題であり、それを尊重したい。

問 六課をいきなり三課にすれば、住民サービスの低下が心配される。また、職員の配置

など調整が必要で、四月一日からの実施はとて間に合わない。先送りするか白紙撤回をすべきだ。

答 町長 調査会委員の中から、昨年度に統合せよとの強い指摘もあつたが延びてきている。今回は課長も二人退職するので、思い切つて改革を断行していきたい。

市町合併の今後と自立計画は

今年中に自立計画を(総務課長)

問 町長は住民アンケートを最優先するかと答えているが、次回の合併協議会で想定される問題解決に向けて、どう考えているのか。

答 町長 合併協議会で住民アンケート

を最優先したいと述べてきているので小松島市にも十分理解していただき、私の不徳も認め、謝り、うまく調整できるように最大限努力していきたい。

問 合併ができなければ早急に自立計画を立てなければならぬが、その用途は。

答 秋成総務課長 今年中に自立計画案を立て、住民に示したい。



操業から二十七年になる石井町のゴミ焼却場

合併の見通しが立たなくなつたことで、クリーンセンターの維持管理はますます重要だ。本町と同機種である石井町の焼却施設に学ぶ必要があると思うが。

問 山平住民課長 石井町の焼却施設は操業から二十七年になるが、点検、補修など早め早めの対応をしている。専門家による精密な機能検査を行ない、早めに対応をして一年でも長く操業できるようにしたい。

議決した予算は 必ず執行を

十七年度の

地籍調査は

無駄な所は指導も (町長)

(町長)

問 計上されている三十三億百万円の当初予算は、各課が無駄を省き練りに練り上げた予算だと思ふ。この予算が議決され執行される時点で、町長が制限や制約をつけることはないか。

問 昨年は相次ぐ台風で町道や河川の災害が多かつたが、今年の方策は。

答 町長 議決された予算全体にはクレームをつけるつもりはないが、事業によつては工夫すれば無駄の省けることもある。指示、指導することでも有効活用を図りたい。

答 坂井建設課長 厳しい財政だが、町道の維持管理費は増額した。河川については県と協議中であり最善を尽くしたい。

問 十七年度は地籍調査にどの程度取り組むのか。

答 坂井建設課長 十七年度から対象面積を増やし、棚野大谷地区など十字地区程度を計画している。



順調に進む地籍調査

元気が一番

孫、ひ孫合わせて三十人



稼勢幸雄さん（横瀬）
明治44年10月10日生（満93歳6ヶ月）

- Q** 小さい頃の遊びは。
A めんやばい廻しなどの遊びはありません。親が厳しく、子守りや仕事の手伝いばかりさせられました。
- Q** 長生きと健康の秘訣は。
A 全身の指圧を毎日続ければ病気はありません。年を取るにつれ脳の指圧が一番です。
- Q** 好きな食べ物は。
A お菓子、ビール、酒など毎日少しづつです。

- Q** 楽しかった思い出と、つらかったことは。
A 昭和六十年頃、老人会でゲートボールや歌のけいこをしたことです。つらかったのは、昭和十九年四月海軍兵に召集されましたが、その時には母親とも妻とも死別しており、父親に幼い四人の子供をあずけて故郷を離れ、佐世保海兵団に入隊したときです。
- Q** 昔と今、何が一番変わったと思いますか。
A 今の若い者は心の持ち方が変わったと思います。
- Q** 毎日行っていることは。
A 毎朝食事前に先祖供養を行っています。心の中に太陽を輝かせ苦しいことはなくなります。



昭和五十年頃 旅先で

- Q** 最近の楽しみは。
A 人との出逢いが楽しいですが耳が悪いので話は少なくなりました。畑の草抜きと歩き回ることも楽しみですが目もうすくなりました。
- Q** 旅行などの思い出は。
A 沖縄、佐渡、大阪などに弟と行ったことです。
- Q** これから望む事は。
A 家族みんなが仲良く健康でそれぞれの仕事に励めるようにと願っています。

編集後記

小松島市との合併協議が破たんし、合併議論に終止符が打たれ、勝浦町はこれから独自の道を歩むことになりました。今後、十年二十年先の町をどうするのか問われることとなります。

地域の発展は辺ぴで中心地から遠いとかそれぞれの立地条件によって決まっていますが多様化する現代社会の中では住民が主役です。一人ひとりのやる気が地域を大きく動かします。夢無くして理想無し、理想無くして目標無し、目標無くして実行無しと言われます。夢を語れるような町を目指して頑張っていきたいと思えます。（二司）

